

平成 18 年度 第 1 回事前調査検討専門部会

日時：2006 年 6 月 30 日 午後 1 時 30 分から午後 5 時まで

場所：海洋研究開発機構 東京連絡所 大会議室

出席者：

専門部会委員：芦（部会長）、荒井、岡野、小平、辻、中西、三浦、山本

SSP 委員：朴、田中、金松、白井

オブザーバー：養老

事務局：山田、長橋、加賀谷

報 告

- 1．委員の自己紹介
- 2．資料の確認
- 3．部会の設置目的（確認）
 会則の確認（資料 1-2）
- 4．SSP のレビュープロセスの紹介
 SSP の任務（資料 1-3）

山本委員：プロポーザルの取り扱いに関する説明

- ・ SSP, SSEP でプロポーザルをレビューし、提案者に意見を伝えることにより、・プロポーザルをより良いものにしていく。
- ・ SPC にプロポーザルを送る前に、外部査読（external review）をおこなう。
- ・ EPSP で環境、安全に関する面からプロポーザルを審査する。
- ・ SPC では、プロポーザルのランキングを行う。
- ・ ランキング結果は OTF に送られ、実際の予定が立てられる。
- ・ 現在 SPC では SPC からのプロポーザルの差し戻しに関して検討している。

山本委員：現在日本から提案されているプロポーザルについて紹介（資料 1-4）

山本委員：環境に関する問題について紹介

- ・ SPC で IODP における environmental policy に関する議論をおこなっている。

岡野委員：CDEX では掘削地点の海流など掘削作業に伴う安全確認のための環境調査を行なっている。

海流等の調査に加え、掘削前に掘削点周辺の海底写真の撮影を行う予定である。8 月から下北半島沖でライザー掘削を実施するために、6 月末から 7 月上旬に「なつしま」を使った調査を実施予定（資料 1-5）。係流計の設置、カメラによる海底観察を行う予定である。また、海底微細地形の調査も実施予定である。

田中 SSP 委員：SSP におけるプロポーザルのレビュープロセスについて

パネル会議の進行について紹介

芦委員長：SSP に欠席する委員の代理についての仕組みはないのか？

荒井委員：欠席する委員がいる場合は、代理を出席させることが原則である。

次回 SSP の委員になる可能性のある人を代理として派遣できれば良いのであるが。

朴 SSP 委員：事前調査データのデジタル化に関する質問（ソフトなど）

田中 SSP 委員：事前調査データのデジタル化に関する説明

三浦委員：会議の前に、データを見ることができる。

芦委員長：全てのデータを SSP 委員全員が閲覧できるのか？

田中 SSP 委員：可能である。

岡野委員：インダスファンのデータのデジタル化について紹介。

5 . 各機関による最近の調査および調査予定について

5.1 CDEX・IFREE（南海トラフの3次元反射法地震探査）

朴 SSP 委員：IFREE が行った熊野沖南海トラフの3次元地震探査について紹介

調査内容，データの例，データ処理の現状と今後の予定

養老オブザーバー：CDEX がおこなった熊野沖南海トラフの3次元地震探査について紹介

観測内容，観測機器の説明，データの例，問題点（黒潮の影響），

データ処理の現状と今後の予定

小平委員：3次元地震探査の必要性に関する質問

田中 SSP 委員：全ての掘削提案地点において3次元地震探査は必要ではない。

掘削提案書に必要な事前調査データに関する情報がまだ正式には公表されていない。

小平委員：IBM では必要

中西委員：SSP からなるべく早く必要な事前調査の項目を公表すべきである。

5.2 IFREE

三浦委員：IFREE が実施する計画の IBM に関する調査の紹介

「かいいい」、「かしよう」を使った航海

金松 SSP 委員：来年度の深海調査の募集期間は7月12日から8月15日まで

5.3 CDEX

岡野委員：沖縄トラフにおける調査などの紹介（資料1-5）

沖縄トラフに関する提案書は JAMSTEC 高井氏による提案である。

CDEX として、どの提案書をサポートするかを決めるシステムについて検討中である。

荒井委員：事前調査のサポートを CDEX でどのようにおこなうのか？

岡野委員：JAMSTEC 内公募の研究航海を提案することは可能である。

小平委員：IFREE としては、"Solid Earth Initial Science Plan"に沿った掘削提案書については、事前調査のサポートをしていく予定である。

5.4 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

辻委員：国内石油天然ガス基礎調査の紹介

経済産業省から受託し、物理探査と試錐を実施。データについては、現在ウェブでは公表していない。データ使用は関係部署へ申請し、許可を得ることが必要である。

荒井委員：今後の予定は？

辻委員：引き続き行うものと理解している。

芦委員長：基礎試錐は？

辻委員：同じく行うとの理解である。

朴委員：3次元反射法地震探査の専用船の建造は？

辻委員：部署が違うため、現状を把握していない。

岡野委員：3次元反射法地震探査について公表されているデータの種類は？

辻委員：一般には通常処理のものである。

5.5 その他

芦委員長：探鉱連絡会議について岡野委員に現状を尋ねる。

岡野委員：石油・天然ガス開発会社間では情報交換も含め実施されているが、他機関との連携等についてはあまり進展はないようである。

芦委員長：(海洋情報部，加藤委員の代理で報告)

大陸棚関係のデータは実施機関が学術論文として公表してゆく予定である。

芦委員長：白鳳丸航海が今年度3レグある。南海トラフの調査を10月に行う予定。淡青丸による熊野沖泥火山のミニ3次元反射法地震探査が予定されている。

荒井委員：産総研では日本近海の地質図を作成している。

北海道沖の調査で全ての調査が終了予定

調査結果はウェブで古いデータを含めて閲覧可能である。

審 議

1. プロポーザルの支援について

- ・ 以前行った提案者を対象にしたアンケートを再度実施するか。
前回の回収率は半分程度であった（16件中8件）。
プロポーザルを準備している段階の研究者の支援をどうするかも検討すべき。

辻委員：前回のアンケートに関しては具体的におこなったことはなにか

岡野委員：オホーツク海のプロポーザルについて、海洋研の過去のデータを整理し、
図化する作業をおこなった。

荒井委員：松田氏のプロポーザルのために、昨年研究航海を行った。

芦委員長：CDEX が作成した（？）プロポーザルの書き方に事前調査として必要な
データ項目の記述を加える必要がある。*注：IODP 国内科学掘削推進
委員会，掘削・計測検討専門部会により作成（末尾参照）。

小平委員：この部会でプロポーザルに必須の事前調査データの項目の紹介や
調査方法の解説などの支援が必要である。

山本委員：SSP の事前調査データに関する資料の公表を希望する。

朴委員：プロポーザルを作成することができそうな研究の支援が必要ではないか。

芦委員長：資料 1-6 のような内容を J-DESC のウェブで公表してはどうか

荒井委員：この部会の紹介も必要でないか。

山本委員：J-DESC として宣伝する必要あり。

芦委員長：この部会だけでなく、他の部会も含めたウェブでの広報が必要である。

2. SSP の支援について

芦委員長：7月に札幌で開催される SSP の会議の支援はどうなっているのか。

田中 SSP 委員：札幌事務局による支援が予定されている。

< 参 考 >

Title : IODP 掘削プロポーザル作成の手引き

発行年：平成14年6月

取りまとめ等：IODP 国内科学掘削推進委員会・掘削・計測検討専門部会

目次等

はじめに

第1章 IODP 科学掘削プロポーザルの募集に向けて

第2章 iSAS/IODP Site Summary Forms

第3章 掘削全般

第4章 コアサンプリング

第5章 孔内検層

第6章 泥水検層

第7章 長期計測

付録 掘削計測用語解説集